

第三中学校区における市立小中学校の 適正配置等に関する懇談会

報告書

交野市教育委員会

令和3年12月

懇談会開催の経緯

市教育委員会では、交野市立小・中学校における児童生徒の教育環境の維持向上を図り、更なる少子化、学校の老朽化等の課題や小中一貫教育などの新たな学校づくりに対応するため、平成31年2月に、今後の市立小中学校の学校適正配置についての方向性を示した「交野市学校規模適正化基本計画」を策定しました。

しかしながら、当該計画の中で、第三中学校区及び第四中学校区の学校適正配置の方向性については、星田駅北地域の住宅開発の動向が確かなものとなった時点で、再度検討することとされていました。

そこで、市教育委員会では星田駅北地域の住宅開発の進捗に合わせて、令和元年7月に「交野市立第三中学校区及び交野市立第四中学校区の学校適正配置の方向性」について、学校教育審議会へ諮問を行いました。

当該諮問案件については、現在もご審議いただいているところですが、この度、第三中学校区の将来に向けた望ましい学校適正配置の方向性に係る答申の取りまとめにあたり、第三中学校区の各学校に関わりのある保護者や地域の方々が、現在、そして将来にわたって第三中学校区の子どもたちに良好な教育環境を確保することのできる学校適正配置とはどのようなものであると考えられるかご議論いただき、理解を深めていただくとともに、保護者や地域の方々のご意見をお伺いするため懇談会を開催しました。

《懇談会の参加者構成》

交野市PTA協議会	12名	区長会（三中校区の区長）	6名
学校評議員	4名	子ども会育成連絡協議会	1名
青少年指導員	1名	校区福祉委員	3名
民生委員児童委員・主任児童委員	3名	公募市民	7名

合計36名

※参加者のうち、1名の方は区長会と校区福祉委員を兼任されています。

開催概要

将来にわたって、第三中学校区の子どもたちに良好な教育環境を確保していくことのできる学校適正配置について、学校教育審議会で作成された学校適正配置案等をもとに参加者同士の意見交換を踏まえて、一人ひとりにお考えいただきました。

なお、参加者同士の意見交換は、参加者の年齢、性別、居住地域等を考慮し、6班に分かれて行い、ファシリテーターとして兵庫県立大学 准教授 竹内 和雄 先生をお招きしました。

【第1回懇談会】

日 時：令和3年7月2日（金）19時～21時

場 所：星田会館 2階 第4会議室

参加者：31名

案 件：1. 第三中学校区の現状と課題

2. 小中一貫教育について

3. 小中一貫教育の取り組みについて

4. ペアワーク「どんな子どもになってほしいか」



概 要：第三中学校区の現状と課題や交野市が取り組んでいる小中一貫教育について説明するとともに、第三中学校区での小中一貫教育の取組みについて、実際に学校現場におられる先生からお話いただきました。ペアワークは、「どんな子どもになってほしいか」をテーマとして、意見交換を行いました。（資料1）

【先進事例施設見学】

第三中学校区の学校適正配置についてお考えいただくにあたり、施設一体型小中一貫校など近年増えている新しい学校施設についてもイメージを持っていただくため、以下①②の2日程で施設見学を行いました。また、施設見学後には参加者の方に、施設見学に係るアンケートをとらせていただきました。（資料2）

	①	②
日時	令和3年7月27日（火） 14時～16時30分	令和3年7月29日（木） 14時～16時30分
見学先	京都市立凌風小中学校	京都市立向島秀蓮小中学校
参加者	9名	9名

【第2回懇談会】

日 時：令和3年10月1日（金）18時～20時

場 所：星田会館 2階 第4会議室

参加者：30名

案 件：1. 資料の説明について

2. 第三中学校区の学校適正配置（5年後）について

概 要：学校適正配置案やその他参考資料をもとに、令和2年度からみて5年後の第三中学校区の望ましい学校配置について、班での意見交換を踏まえて、お考えいただきました。（資料3）



【第3回懇談会】

日 時：令和3年11月9日（火）19時～21時

場 所：星田会館 2階 第4会議室

参加者：24名

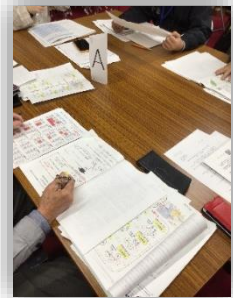
案 件：1. 追加資料等の説明について

2. 参加者提案資料の説明について

3. 第三中学校区の学校適正配置（10・20年後）について

4. 班の意見発表について

概 要：第2回に引き続き、令和2年度からみて10年後及び20年後の第三中学校区の望ましい学校配置について、班での意見交換を踏まえて、お考えいただきました。（資料4、5）



【第4回懇談会】

日 時：令和3年12月7日（火）19時～21時

場 所：星田会館 2階 第4会議室

参加者：25名

案 件：1. 追加資料等の説明について

2. 先行事例の紹介について

（第一中学校区PTA、守口市立さつき学園 元校長）

3. 第三中学校区における市立小中学校の適正配置等に関する懇談会のまとめについて

概 要：第三中学校区の望ましい学校適正配置について、これまでの懇談会でいただいたご意見などをまとめました。（資料6）



第三中学校区の学校適正配置案

懇談会では、学校教育審議会でご審議いただいている第三中学校区の学校適正配置案を参考に、以下の19の学校適正配置案から、望ましいと考えられる学校配置についてお考えいただきました。なお、配置案（15の2）は、第3回懇談会時に参加者提案により追加された学校適正配置案です。

【現状の学校配置を維持】

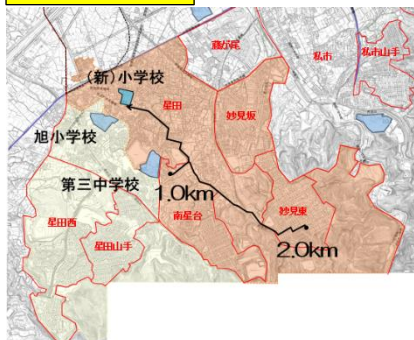
配置案（1） 現状の学校配置を維持



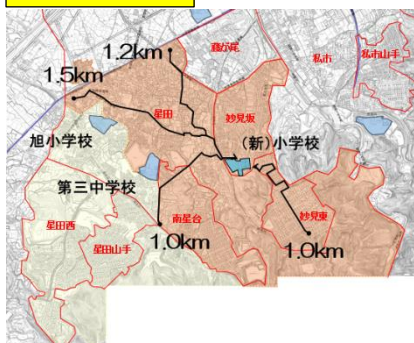
【2小統合】

星小と妙小を統合

配置案（2） 星小敷地に統合校を設置

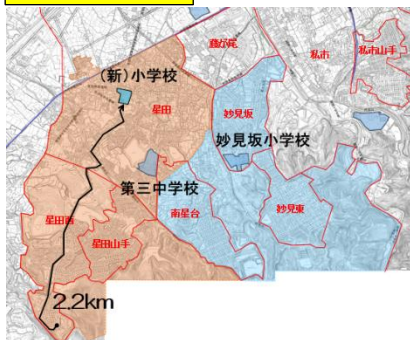


配置案（3） 妙小敷地に統合校を設置

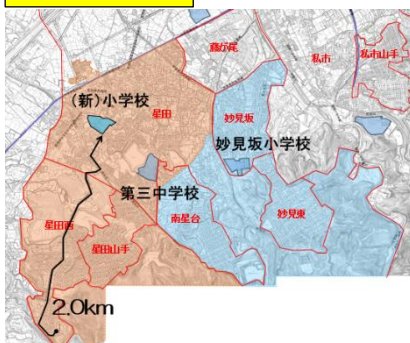


星小と旭小を統合

配置案（4） 星小敷地に統合校を設置



配置案（5） 旭小敷地に統合校を設置

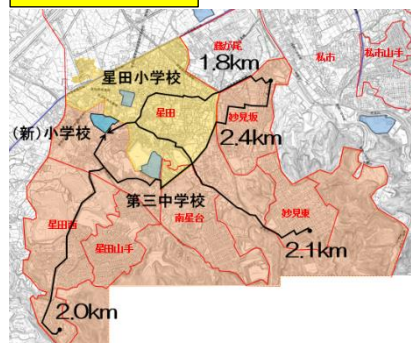


妙小と旭小を統合

配置案（6） 妙小敷地に統合校を設置

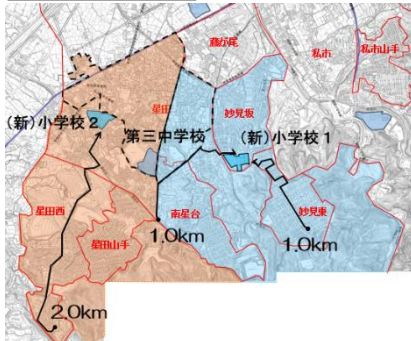


配置案（7） 旭小敷地に統合校を設置



【3小→2小（1小の校区を分割）】

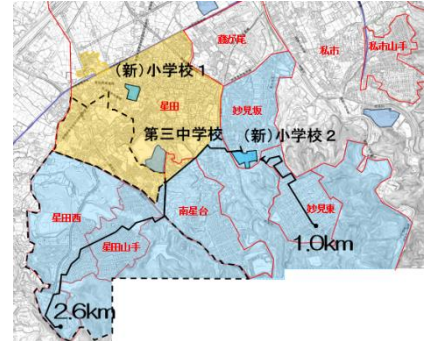
配置案（8） 星小校区を分割



配置案（9） 妙小校区を分割



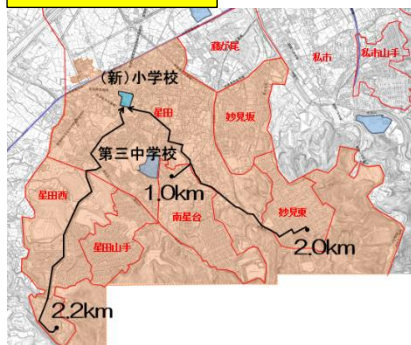
配置案（10） 旭小校区を分割



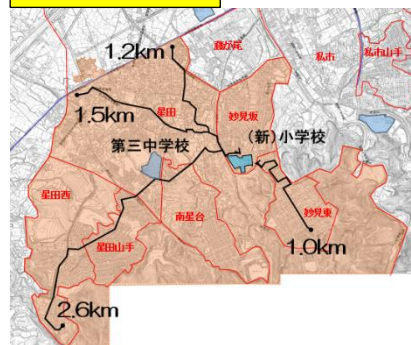
【3小統合】

星小と妙小と旭小を統合

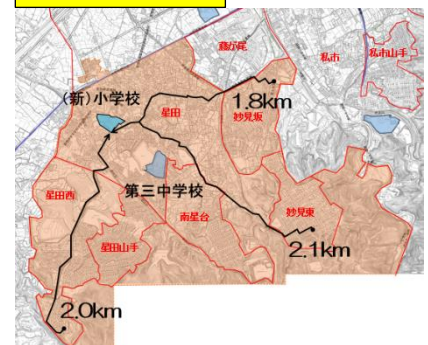
配置案（11） 星小敷地に統合校を設置



配置案（12） 妙小敷地に統合校を設置

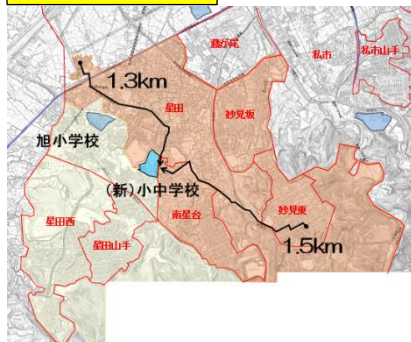


配置案（13） 旭小敷地に統合校を設置



【小中学校統合】

配置案（14） 星小と妙小と三中进行し
三小敷地に統合校を設置



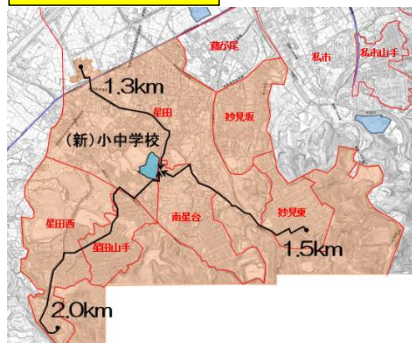
（次頁に続きます）

【小中学校統合】

星小と妙小と旭小と三中を統合

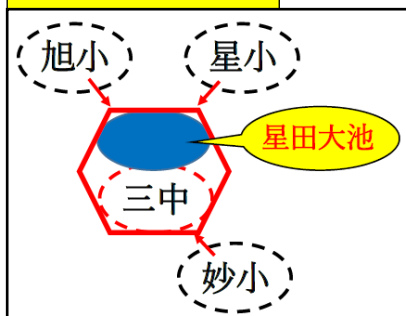
配置案(15)

三中敷地に
統合校を設置



配置案(15の2)

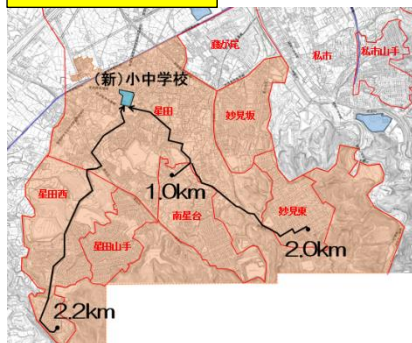
三中敷地と三中敷地に隣接する星田大池の埋立地(最大三分の二の面積)をあわせた敷地に統合校(施設一体型)を設置



※配置案(15の2)は、第3回懇談会時に参加者提案により追加された配置案

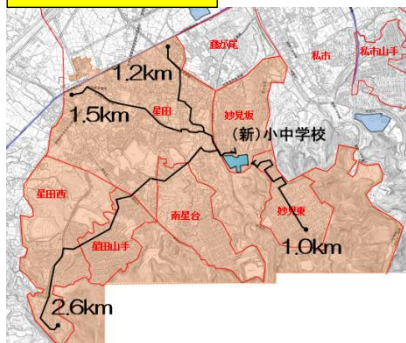
配置案(16)

星小敷地に
統合校を設置



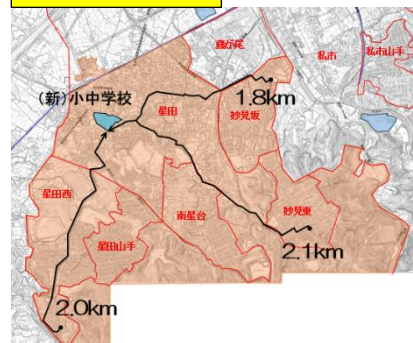
配置案(17)

妙小敷地に
統合校を設置



配置案(18)

旭小敷地に
統合校を設置



第三中学校区の望ましい学校適正配置について

第2回、第3回の懇談会では、令和2年度からみて5年後・10年後・20年後の望ましい学校適正配置について、学校適正配置案をもとに班ごとに意見交換を行い、参加者一人ひとりにお考えいただき、ご意見とともに用紙に記入後、ご提出いただきました。

望ましいと思う学校適正配置については、複数ある配置案の中から、良いと思う配置案を上位3案まで、ご回答いただきました。（回答は最も良いと思う配置案1案や、良いと思う上位2案だけでも可）

（1）5年後の望ましい学校適正配置について

回答人数：30人（第2回懇談会 出席者数）

	1 番目に 望ましいとお答えい ただいた方の人数	2 番目に 望ましいとお答えい ただいた方の人数	3 番目に 望ましいとお答えい ただいた方の人数
配置案（1）	20	1	0
配置案（2）	0	0	1
配置案（3）	0	0	0
配置案（4）	0	2	0
配置案（5）	2	3	0
配置案（6）	0	0	1
配置案（7）	0	0	0
配置案（8）	0（1）	2	0
配置案（9）	0	0	0
配置案（10）	0	0	0
配置案（11）	0	0	0
配置案（12）	0	0	0
配置案（13）	0（1）	0	0
配置案（14）	0	0	0
配置案（15）	4	1	1
配置案（16）	0	0	0
配置案（17）	0	0	0
配置案（18）	0（1）	0	0

※「1番目に望ましいとお答えいただいた方の人数」に記載の（ ）書きについては、第8案・第13案・第18案を並列で、1番望ましいとご回答いただいた方の、回答結果を表しています。

(2) 10年後の望ましい学校適正配置について

回答人数：24人（第3回懇談会 出席者数）

	1 番目に 望ましいとお答えい ただいた方の人数	2 番目に 望ましいとお答えい ただいた方の人数	3 番目に 望ましいとお答えい ただいた方の人数
配置案（1）	14	0	0
配置案（2）	0	0	0
配置案（3）	0	0	0
配置案（4）	0	1	0
配置案（5）	1	2	1
配置案（6）	0	0	0
配置案（7）	0	0	0
配置案（8）	0	3	0
配置案（9）	0	0	0
配置案（10）	0	0	0
配置案（11）	0	0（1）	0
配置案（12）	0	0（1）	0
配置案（13）	0	0（1）	0
配置案（14）	0	0	0
配置案（15）	2	2	0
配置案（15の2）	4	0	0
配置案（16）	0	1	0
配置案（17）	0	0	2
配置案（18）	0	0	0

※「2番目に望ましいとお答えいただいた方の人数」に記載の（ ）書きについては、第11案・第12案・第13案を並列で、2番目に望ましいとご回答いただいた方の、回答結果を表しています。

※配置案（15の2）は、第3回懇談会時に、参加者提案により追加された配置案です。

(3) 20年後の望ましい学校適正配置について

回答人数：24人（第3回懇談会 出席者数）

	1 番目に 望ましいとお答えい ただいた方の人数	2 番目に 望ましいとお答えい ただいた方の人数	3 番目に 望ましいとお答えい ただいた方の人数
配置案（1）	1	0	0
配置案（2）	0	0	0
配置案（3）	0	0	0
配置案（4）	0	1	0
配置案（5）	2	1	1
配置案（6）	0	0	0
配置案（7）	0	0	0
配置案（8）	0	1	0
配置案（9）	0	0	0
配置案（10）	0	0	0
配置案（11）	0	0	0
配置案（12）	0	0	0
配置案（13）	0	0	0
配置案（14）	0	0	0
配置案（15）	3	3	0
配置案（15の2）	8	1	0
配置案（16）	0	1	0
配置案（17）	0	0	2
配置案（18）	0	0	0

※配置案（15の2）は、第3回懇談会時に、参加者提案により追加された配置案です。

懇談会における学校適正配置についての意見まとめ

5年後の第三中学校区における望ましい学校適正配置については、現状の学校配置を維持する配置案（１）が望ましいと考えられた方が20名で最も多いという結果となりました。次いで、望ましいと考えられた方が多い配置案は、星田小学校・妙見坂小学校・旭小学校・第三中学校の4校を統合し、統合校を現在の第三中学校敷地に設置する配置案（１５）が4名で2番目に、星田小学校・旭小学校を統合し、統合校を現在の旭小学校敷地に設置する配置案（５）が2名で3番目に多いという結果となりました。

10年後の第三中学校区における望ましい学校適正配置については、配置案（１）が望ましいと考えられた方が14名で最も多いという結果となりました。次いで、望ましいと考えられた方が多い配置案は、星田小学校・妙見坂小学校・旭小学校・第三中学校の4校を統合し、統合校を現在の第三中学校敷地と第三中学校敷地に隣接する星田大池の埋立地（最大三分の二の面積）をあわせた敷地（星田大池は大字星田財産区の所有地となっているため、用地取得が必要）に設置する配置案（１５の２）が4名で2番目に、配置案（１５）が2名で3番目に多いという結果となりました。

20年後の第三中学校区における望ましい学校適正配置については、配置案（１５の２）が望ましいと考えられた方が8名で最も多いという結果となりました。次いで、望ましいと考えられた方が多い配置案は、配置案（１５）が3名で2番目に、配置案（５）が2名で3番目に多いという結果となりました。一方で、20年後については、現時点ではイメージできない、わからないとの意見も複数ありました。

また、参加者一人ひとりのご意見は、資料３・資料４のとおりです。

表． 5・10・20年後で1番目に望ましいと考えられた方が多かった配置案

	5 年後	1 0 年後	2 0 年後
1 番目 に多い 配置案	配置案（１） 概要：現状の学校配置を維持	配置案（１） 概要：現状の学校配置を維持	配置案（１５の２） 概要：星小・妙小・旭小・三中を統合し、統合校を三中敷地と星田大池の埋立地をあわせた敷地に設置
2 番目 に多い 配置案	配置案（１５） 概要：星小・妙小・旭小・三中を統合し、統合校を三中敷地に設置	配置案（１５の２） 概要：星小・妙小・旭小・三中を統合し、統合校を三中敷地と星田大池の埋立地をあわせた敷地に設置	配置案（１５） 概要：星小・妙小・旭小・三中を統合し、統合校を三中敷地に設置
3 番目 に多い 配置案	配置案（５） 概要：星小・旭小を統合し、統合校を旭小敷地に設置	配置案（１５） 概要：星小・妙小・旭小・三中を統合し、統合校を三中敷地に設置	配置案（５） 概要：星小・旭小を統合し、統合校を旭小敷地に設置

第1回 懇談会 パワーワーク ご意見まとめ

テーマ 《どんな子どもになってほしいか》

【A班】

- ・私は、世の中についてゆけないが、その流れの中で子どもたちは生きてゆく。先生も奮闘している。孫たちが生き続けられる、流れに乗ってゆける子になってほしい。
- ・ネットだけで実際に触らないものがわかった気になる。触っていない植物、漆などは、年寄りにはわかるが、子どもはわからない。自然が多いので、それがわかるような教育が交野ならできると思う。

【B班】

- ・小中一貫の適正に関して子どもにもメリットがあると思う。中一ギャップ問題とか以外のデメリットも聞きたかった。1クラスでしんどいのもそうかな?と思いつつも、一つの良さもあり、その良さも聞きたい。
- ・老朽化は大きな問題だが、今の子、将来の子、少子化も考える必要がある。一貫校もメリット・デメリット両方ある。それについてもっと話せるかと思ってきた。そういう場が必要。

【C班】

- ・無理と言わず、わからないことに立ち向かって行ける力がいうところ。
- ・社会が求めるような人材となると、先ほどの話では、今までと違った人間像になってゆく。大人ができることとして見守りで毎朝立っている。地域の人が駅に送って、よその子がいるのにバーンと近くを走ってゆく。自分のことだけの親が最も問題。

【D班】

- ・ここの学校、地域の出身でよかったと思ってもらえれば。先生も努力されている。しかし、一番頑張っているのは保護者だと思う。先生がお客で来られて、話を聞くと一番驚いたのは、学校の子が泳げるのにびっくりしたと。力を入れているのに驚いたと。それを聞き地域特性の良さが大事だと思った。
- ・はじめの話で子どもが減ってゆくと言っていたがどうかと。一部では増えている話もあり通学路についても心配。先日、事故もあった。今はそのことが現実の問題として先ではないか。学校が統合して空いた土地がどうなるか治安も心配。

【E 班】

- ・柔軟に対応できる子。人の話を聞ける子。コミュニケーションのとれる子になってほしい。女子が荒れるという話であったが子どもが小さいころから人格者として地域も付き合っただけでいいのではないと感じた。小中一貫校ありきではなく、コミュニティ・スクールが大切であると思う。地域との関係が大切。最終的にはコミュニティ・スクールを見据え、地域との関わりを大切にしてほしい。
- ・それぞれの校区には校区福祉委員会もある。人と人の絆を育てられるような学校を目指してほしい。

【F 班】

- ・人の気持ちがわかる優しい子にと、希望を言ったら周りから無理だ、難しいと言われた。難しいが人の気持ちがわかる子に育ててほしい。
- ・今日話を聞いて、市教委の3中校区の現状や4-3-2 だか6-3 だろうが子どもが減ってゆく中でどうやって地域と子どもを守ってゆくのが課題。

先進事例施設見学に係るアンケート結果

参加者の方には、施設見学終了後、以下の項目についてアンケートを実施しました。
アンケートにご協力いただいた参加者の皆様のご意見・ご感想等をご報告します。

【京都市立凌風小中学校 見学に係るアンケート項目】

- (1) 凌風小中学校（施設一体型小中一貫校）の印象や良かった点・課題と感じた点、感想などをご記入ください。
- (2) その他、感じたことなどをご自由にご記入ください。（凌風小中学校）

【京都市立向島秀蓮小中学校 見学に係るアンケート項目】

- (3) 向島秀蓮小中学校（施設一体型小中一貫校）の印象や良かった点・課題と感じた点、感想などをご記入ください。
- (4) その他、感じたことなどをご自由にご記入ください。（向島秀蓮小中学校）

(1) 凌風小中学校（施設一体型小中一貫校）の印象や良かった点・課題と感じた点、感想などをご記入ください。

■ 発足以降 10 年、教育理念も十分説明を聞き良かった。また、施設も立派で見学してよかった。「地域の活性化を目指し」良い方向性が示せる様話し合えばよいと思った。10 年 15 年先と言わず、出来るだけ早期実現を目指すべきだと考える。課題についても少し聞きたかったが。

■ 理念がしっかりとしており、それをもとに施設その他もつくられているので、4・3・2 制もうまく機能しているのだと思いました。

10 年たってもとてもキレイな学校で、キレイを維持するための小さな工夫や新しい施設・設備はやはり心地いいなと感じます。（それは一体校でなくとも、各校の建て替えでも得られますが）

図書館が分かれているのも良い。小 5～第 2 ステージで、50 分授業で制服、部活など、同じフロアでチャイムや授業時間がまじらないのはよいと思いますが、小 5 の生の声を聞いてみたい。

全体的にアットホームなかんじ。

支援学級が、1・2 F にあり、職員室近い、外にもすぐ出られるのが良い。

運動場のすみわけもあり、中休みはグラウンド以外にアスレチック遊具があるのが良い。

- 設備の整ったすばらしい学校だと思います。ただ、設備にかかる費用が…
交野市では実現しなかったプール。やはり校内にプールは必要ではないか？
生徒数にしては、交野は約 1000 人。グラウンドが 1 つ。今回の学校は約 690 人。グラウンドが 2 つ。どうしても子どもたちがのびのびと遊べないと思う。
凌風小中学校の教育理念がしっかり確立していたが、交野はどうか？
交野市の先生たちには、小中教育の壁が大きいのではないか？
京都市では小中の先生たちの交流が行われていて、そんなに抵抗はないと思うが、交野市の先生たちはどうか…

- 凌風小中学校の施設の素晴らしさ、校長先生のお話から伺える子ども達のイキイキとした様子、とっても良い学校のように思いました。
しかしながら、学校の先生がたはとても頑張り、子ども達のためにされてこられたのかと思いました。
交野の三中校区で同じようなことができるのか？と不安もありますが、子ども達の凌風小中学校の様子を見ると、施設一体型一貫校に期待したくなりました。
でも、凌風小中学校は地域からの声で小中一貫校に話が進んだような…。三中校区はどうでしょうか？

- 校長（学園長）の教育に対する熱意がすばらしかった。
施設（築 10 年）の管理・手入れがすばらしく、本当に素晴らしい教室環境であった。
4・3・2 ステージで低学年～高学年までをうまく教育できるすばらしい運営ができていたと思った。
低学年の子供たち、高学年の上級生、一貫教育の良いところを十分発揮しておりすばらしかった。

- すばらしい教育理念に基づく新たな教育実践、そして施設・設備の充実ぶり、あまりにもすべてが良いと話されていたのが、逆にひっかかった。おそらく、全国からも見学が多々ある先進事例ゆえ、問題点などお聞かせ願えなかったのではないかと懐疑的になった。
一番印象的だったのは、学校と地域とのかかわりというか信頼関係がなければ成り立っていかないと話された点だった。

- すばらしい教育理念のもと、地域独自の歴史やアイデンティティにも配慮した統合を成し遂げられたのに感動しました。

各ステージの子どもたちがいきいきと学校生活を送り、その中でそれぞれの夢を持つ。その夢を形にするためのキャリア形成指導を8～9年でしっかり行う。すばらしいすぎるくらいです。

ハード面での学校校舎、設備も素敵です。きれいに使われています。交野にもこんな学校ができればと思いました。

反面、きれいなのは、おそうじは外注されているのかなと。

「スインドウ」などほかにもランニングコストがかかってくるものも多いのではないのでしょうか。

凌風小中学校は登校が遠い子でも20分ぐらいと、校区がコンパクトなのに対し、第三中学校区はずいぶん遠くなる地域の子も多いことが心配する点です。

- ホテルかなあと見違えるようなきれいな設備、こんな環境で勉強できる子供たちは幸せ。

4・3・2制のシステムもしっかりつながっている。スムーズに上に上がっていけるように感じた。

「地域の子は地域が育てる」この理念をベースに学校づくりが大切だと感じた。

掲示物がきれいになっていた。学校のポリシーが子どもたちにしっかり浸透していた。

今回の見学会は、星のまち学園の設立準備に大変有意義なものであった。

（2）その他、感じたことなどをご自由にご記入ください。（凌風小中学校）

- すばらしい部分は聞けたが、何かしらの不具合や困ったこともあったはず。すでに改善した部分も。その部分も聞きたかった。それを聞いてこそ対応がねれると思う。

この学校は、1学年が2～3クラスで全体で30クラス。全校生徒が700人。この規模だからこそ目が行き届くのだと思う。最後に校長先生にお伺いしたが、どこまでも規模を大きくしても、同じようにみれるわけではないと思うと、実際2クラスでは多いため、3クラスにしている学年は担任をつけることで動ける先生が減ってしまう。

この規模を考えずに一貫校だからそのままよいと交野に当てはまることはできないと思う。3中校区にしてみたら、一貫校にするならば2校必要になると思う。

- 凌風小中学校は地域の皆さんの意見・同意のもとでできた学校。一中校区の合併はどうだろう？と考えさせられた。

プールに関しては、消火設備として考えれば必要ではないか。

交野での一貫校にはまだまだ問題が山積みかと思いました。

- 今回の施設見学は2校とも施設一体型ですが、違った小中一貫校の見学も行ってみたいと思います。

今日もメリットな部分がほとんどで、デメリットな部分が聞けませんでした。きっと施設一体型でのデメリットもあると思うので知りたいです。

- 地域あつての学校であり、学校あつての地域である。

それを考える三中校区の保護者住民が現在どれほどの「第三中学校校区における市立小中学校の適正配置に関する懇談会」の存在、活動を知っているのでしょうか。ほとんどの方は御存知ないのではないかと。教育行政の務めとして、校区の全地域住民に今後の教育・学校についての意見を問うべきである。まだまだ、交野においては地域と学校が連携して次代の子どもたちの教育を考えているとは言えない状況ではないか。

- 交野市も、財政的にしんどいと聞いています。交野市の未来を支えてくれるのは子ども達。その子どもたちが交野を大切に思ってくれること。交野を活性化させるために、下世話な話になりますが、たくさん税金を納めてくれる市民になってくれること。ますます住みたい街になるように、美しい活力のある町になるために教育はほんとに大切だと思います。意味ある投資をしていってほしいです。

（３）向島秀蓮小中学校（施設一体型小中一貫校）の印象や良かった点・課題と感じた点、感想などをご記入ください。

- 施設の作りがとても考慮されていると感じた。生徒の姿が見えやすい配置とガラス張りなどの工夫は良かった。各階にティーチャーズルームを配置していたり、学習室、自習室なども適宜配置されていた。狭い敷地ながら、さまざまな工夫をした校舎づくりになっていると感じた。（トイレ横の棚や階段横のスペースを利用したイス配置、書架の配置など）相談室、カウンセリングルーム、地域交流ルームの配置もよかった。

児童生徒の声も聞きたかった。（施設などについて）

通級教室、支援クラス、保健室など、配慮が必要な教室が少なく、小中共享なのがやはり気になった。発達課題や身体的なことも含む繊細な部分のことなので、少なくとも複数あった方が良いのではなかったかと思う。この学校では、教師の数を3名にすることで対応していたが、それが三中校区でも適応されるのか、課題だと感じた。

プールは工夫されていて（水量の調節で）、1つで対応できるようになっていた。今さらながらではあるが、一中でも、それができなかったのかなと思った。

色々なことを実際に見て感じることができました。

- とても素晴らしい学校と施設にびっくりしました。あれだけの施設と教職員の方と地域の協力で、子どもたちがのびのびといたわり合いながら勉学に励める事はとても良いことだと思いました。施設一体型小中一貫校にはあまりマイナス面がないことにもびっくりでした。

教職員の方々もとても子ども達のために頑張られている様子が分かりました。(1年生から9年生の子ども達がいると大変です)

- 2校とも考えられた施設ですばらしいなと思うことがたくさんありました。向島の学校では、地域に開かれていることが特に印象的です。また、「3い」が半減したという点には注目したいと思います。 ※「3い」…いじめ、いたずら、いやがらせ

学校の設立にあたって何度も地域と教育委員会で会議が持たれたということですが、3中校区でも、学校適正配置懇談会の4回に続いて、さらに地域・保護者・教育委員会等での話し合いや勉強会、研究会を重ねて行って欲しいと思います。

今回は京都市の学校の例を勉強させていただきましたが、交野市の実状とは違う点もあり、他所の一貫校についても勉強していきたい気持ちです。

交野三中校区も、星田小学校をはじめ、歴史ある校区、それぞれの学校に愛着があると思います。丁寧な検討をする時間を充分にとっていただくことで、市民の理解とよりよい方向性が見つけられると良いと思いました。

- 狭い校地に校舎を建てているため、日があたらない部分が多く、校舎内が暗い。運動場が狭い。

- 地域の方の声で小中一貫校ができたという点に大変驚きました。また、統合に向けて子どもたちも先生方も何度も交流会をかさねたからこそスムーズな統合ができたのだと感じました。

統合に向けての話し合いが4年もあると聞き、先生、地域、市の方々が納得するには長い時間が必要であると感じました。子どもたちのために様々な工夫をされている向島秀蓮小中学校の先生方の姿に感動しました。

今日の見学で、小中一貫校の良さもたくさん感じることができました。ですが、今必要なのはスピード感ではなく、じっくり話し合うことだとも感じました。

- 開発で分散されている地域を一体化し、地域の絆を深め、これからの少子高齢化の時代を乗り切るためにも三中校区は施設一体型の一貫校の設置が必要であると思う。

地域懇談会が有意義なものになる様、教育委員会と地元が一体となって実現に向け

進められたら良いと思った。

■【良い点】

- ・向島秀蓮小中学校は、「4年半」かけて地域住民、教員含めて納得し、地域の協力を経て作られた点はよかった。
- ・建物に関しては、白素目先良い作りだと思いました。(階段の色分け、天井、プールの水の高さ調節他)(各階にある教職員用の小部屋(ティーチャーズルーム))
- ・先生、生徒が協力して良くしていこうって雰囲気があること。

■【気になる点】

- ・運動場の狭さはネック。離れにある運動場がなくなったときはどうするのか？
- ・現状通学トラブルは？これから1年生が入ってきたときは大丈夫か？
- ・中学生ギャップはないとのことですが、高校生ギャップが反動であるのでは？
- ・4年、7年、9年の現状の反応は？

- 今回も素晴らしい実践事例を聞くことができた。ただ、やはり気になるのは、あまりにもプラスの面ばかり聞いたので、先進事例施設見学に参加したものはある種のマインドコントロールによって「施設一体型小中一貫校」賛成に誘導されているのではないかという点である。

両論併記的に施設一体型小中一貫校のプラスマイナス両面を客観的に聞いたかったというのが本音である。

成功事例よりも失敗事例からこそ人は学ぶことができるのではないだろうか。

- 大変参考になりました。小中一貫校の良さが再認識された。施設・学校の雰囲気、子ども達の学校生活、地域コミュニティとの連携すべて理想的であり前向きに取り組むべきだと思った。

（４）その他、感じたことなどをご自由にご記入ください。（向島秀蓮小中学校）

- 小中一貫校の縦割りの体制がとても有効に表れていると感じた。ただ、それには、各ステージの設置や教師の体制、ゆとりなど様々な努力や要因もあると思った。地域との回数を重ねた話し合いの結果、地域も後押しできる学校建設になったことも大きいと思う。

三中校区でも、まだまだ建設計画を立てる前に時間があると思うので、話し合いを重ね、本当に良い形での学校建設が実現するとよいと思った。それが、ひいては子どもたちの将来にわたる大きな財産になると思う。「地域の子どもたちは地域で育

てる。その基本は学校」という考え方は、三中校区、交野でも同じだと思う。地域住民が応援できるような学校づくり、また、跡地利用の在り方であってほしいと思う。

交野市、教育委員会、学校関係者、地域、保護者などのよりよい関係づくりのためにも話し合いが必要だと思った。(子どもによりよい環境をとという思いは同じだと思うので)

- 今回は子ども達のいない夏休みの見学でしたが、1～9年生の子ども達の学校生活の様子も見学してみたいと思いました。

三中校区の施設一体型小中一貫校についても、地域住民のいろいろな意見を聞き、十分な話し合いをして、子ども達のために良い方向に進めていただきたいです。

- 良い点はたくさんあることがわかり良かったです。

①学力向上 ②「3い」の減少 ③施設の充実 ④地域に開かれる

ただ、交野市の場合、問題と思われるものもあります。

①跡地利用が売却になってしまうこと(地域のメリットが減少) ②地域住民からの必要性の実感(要望)が少ない。 ③大切な母校が失われる ④財政面 ⑤教育の負担増

しっかり考えていきたいですね。

- 「のびのび」のためには広い校地は必要。

5年後の望ましい学校適正配置案についての意見まとめ

参加者の皆さま一人ひとりが望ましいと考えられた配置案の番号とご意見をまとめた結果です。
ご意見は匿名での公開としています。

※いただいたご意見は、匿名かつ順不同で掲載しています。そのため、資料3と資料4の「【1】さん」は同じ参加者の方のご意見ではありません。「【2】さん」以下も同様です。

【1】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

5年程度の将来では、まだまだ現状と変わることもなく、又、変える必要もないと思います。今現在、一中校区の統合で通学路が問題になっていると思いますが、小中一貫校を進めていく際には、通学路の整備も並行して進める必要があると思います。

【2】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	第 5 案	3 番	記載なし
-----	-------	-----	-------	-----	------

■ ご意見

地域や子どもの現実から、こういう問題があるから、小中一貫教育が必要であるというの
もわかりにくい。こういう地域社会を築くにはこういう力を育てないといけないという将来の子ども像を明確にした上で議論（適正とか配置）をした方がいいと思います。

【3】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 5 案	2 番	第 8 案	3 番	記載なし
-----	---------	-----	-------	-----	------

■ ご意見

- ・ 凌風小中学校を見学して、4－3－2年制の流れに感心した。
- ・ 15案での通学距離が長くなるので安全面が心配。

【4】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	第 8 案	3 番	第 1 5 案
-----	-------	-----	-------	-----	---------

■ ご意見

記載なし

【５】さん

■ 望ましいと考えた配置案（５年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

５年後は第 1 案かと思います。子ども達の事をまず考え、今回の懇談会をこれで終わらず定期的に開催していただきたいです。今回５年後、１０年後と配置案を記入していきますが、２年後、３年後などその年、その年でこのような話し合いをしていただければと思います。

【６】さん

■ 望ましいと考えた配置案（５年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

生徒数の推移及び施設保全是今後１０年後は耐え得るため、第 1 案で一貫教育をすすめる。将来的に施設統合を行うために１０年の間に土地建物を確保する作業を同時進行ですすめる。

【７】さん

■ 望ましいと考えた配置案（５年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

将来は１５案の施設一体型小中一貫校を目指したい。当面の５年間は児童生徒数の大幅な減少もなく建物の安全性も確保できそうなので、現状の１案を意見提起します。

【８】さん

■ 望ましいと考えた配置案（５年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

次回の懇談会は交流の時間よりも質問を多くとってください。よろしくお願いいたします。

【９】さん

■ 望ましいと考えた配置案（５年後）

1 番	第 5 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

- ・ 経済的な要素がわからないので、建替費用のことを教えていただきたい。
- ・ 建替の期限、いつまでに建替が必要なのか、タイムスケジュールを教えてもらいたい。

【１０】さん

■ 望ましいと考えた配置案（５年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

５年後はスパンが短すぎるので、現実的に統合はむずかしいと思われます。授業内容などは、小中一貫で考え、配置は現状のままだ良いと思われます。

【11】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 5 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	---------	-----	------	-----	------

■ ご意見

記載なし

【12】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	第 5 案	3 番	記載なし
-----	-------	-----	-------	-----	------

■ ご意見

- ・子どもたちにとってよりよい環境づくりを考えて、学校の規模を考えてほしい。（見学した京都の学校のように）
- ・学校だけの問題ではなく、地域を含めた問題だと思う。（地域での話し合いを複数回持って諸問題について考えてほしい。）
- ・通学路の問題をしっかりと考えて適正化を考えて欲しい。
- ・今の学校を補修しながら小中分離型の小中一貫教育が望ましいと思う。

【13】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

子どもの意見を聞く機会をもうけてほしい。

1, 100人規模の施設一体型小中一貫校は規模が大きすぎてメリットが反映されてこないの
で、一体校にするなら、一貫校を2校にした方が良いと思いました。例えば、三中敷地と
星小敷地につくり校区を再編成するとか。その方が一貫校の効果も出るし、通学路もそれ
ほどのびません。そして、一中校区の学校がどうなるかの検証が出てこないとわからない
部分も多いと思います。

「小中一貫教育の実証的検証」という本が出ています。その内容は大規模校にすることの
デメリットも出ているので、そのあたり共有できると本来の学校規模適正についての考え
の材料になると思います。

参考資料に（6）小中一貫教育等についての実態調査の結果とありますが、この中の「満
足度が高まった」とか「中一ギャップ」が緩和されたなどのデータがありますが、これは
どのように出しているのでしょうか。校長とか教頭への聞き取りですか（主観）どのよう
にしてデータをとるとかあったのでしょうか。H26のものですが、新しいデータもある
のですか？

【14】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 5 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	---------	-----	------	-----	------

■ ご意見

配置案を見ましたが、学校側、教育委員会側の意見を聞いてみたいです。実際現場にいる
方々の意見を知りたいです。

【15】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

・ 5 年後に人口の動態を分析して判断するしかないのかな。
・ 参考資料に対して意見がありましたので、市民の意見に対して市側のタイムリーな返答があればうれしい。

【16】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

記載なし

【17】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

今回はじっくり話し合う時間を取って頂きありがとうございました。資料もたくさんこまかい所まで示して頂き、考える情報が多く有難いです。5 年後といえはもうすぐの未来。星田北エリアの人口増も藤が尾小校区との事です。旭小エリアでは、住宅開発もあり、やや子どもの増加があるように思います。5 年後は現状のままで、しかしながら、もっと先には少子化になると思われるので、小中統合についての議論は、行政、学校、保護者、地域を大いに巻き込んで活発にして、住民の意識を高めて、未来の学校を良くしていくすべにしたいと思います。

【18】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

5 年後は今の現状からして変えることはできないかなと思います。10 年後、20 年後は子供の人数、建物の老朽化などで、一番いい状態になっていけばいいなと思います。

【19】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

- ・ 小中一貫を明確にする事。他の施設を入れるな。
- ・ 統合後の廃校の処分も思い切って出来るよう資金の裏付けがほしい。
- ・ 地域別懇談会をすべき。
- ・ 交通網（道路網整備の整備をすること）
- ・ 放課後の学校の使い方を根本的に行う方式が必要。

【20】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 5 案	2 番	第 4 案	3 番	記載なし
-----	-------	-----	-------	-----	------

■ ご意見

・そもそも「適正配置」の基準をどこに置けばいいのかわからない。「人数」にしぼるのであればただの計算でできるはず。数字で割り切れない気持ちは反映されるのでしょうか。
・お金の話はさけて通れません。その前提は判断の大きなファクターにあると思います。

【21】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 5 案	2 番	第 5 案	3 番	第 6 案
-----	---------	-----	-------	-----	-------

■ ご意見

小中一貫や配置も重要であるが、地域（地区）と中学校校区を一致させることがより重要である。現案では、星田区の北側（星田北地域）が四中校区となっており、今後、反発が起き理解が深まらないのでは。なぜ三中校区から外すか説明が必要と考える。個人的には適正配置や小中一貫校には賛成だが、この1点で提示案にはどれも納得できない。

【22】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	記載なし	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	------	-----	------	-----	------

■ ご意見

ごめんなさい。特に意見ありません。

【23】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

記載なし

【24】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	第 1 5 案	3 番	記載なし
-----	-------	-----	---------	-----	------

■ ご意見

後日提出 ※その後、提出なし

【25】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

5年では、学校配置を変更するのは不可能。10年、20年と言わずに経済的な面も考えながら進めるべきだと考えます。今の現状では、まず、小中一貫の教育を見すえて、「4・3・2」の教育を確立させてから、小中一貫にするべきだと思います。もちろん、通学路の問題など様々な問題が出てくるかと思いますが、子どもたち、保護者の意見に耳をかたむけ、議論しないといけなかったと思います。

【26】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	記載なし	2 番	第 1 案	3 番	第 2 案
-----	------	-----	-------	-----	-------

■ ご意見

記載なし

【27】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	-------	-----	------	-----	------

■ ご意見

・市との意見交換の時間が必要。
・通学路部会、地域協働部会の早期立ち上げ。各案の通学路案（とりあえず）。現在の危険箇所の公表と通学路

【28】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 8 案	1 番	第 1 3 案	1 番	第 1 8 案
-----	-------	-----	---------	-----	---------

■ ご意見

小中一貫には、基本的には反対ですが、いろいろな事を考えると（建物の老朽化や通学路など）1ヶ所に集まる方が一番良いかなと思います。

※第8案、第13案、第18案の3案を、最も望ましい配置案としてあげられました。

【29】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	第 1 案	2 番	第 4 案	3 番	記載なし
-----	-------	-----	-------	-----	------

■ ご意見

全ての案に言えますが、正解はなく、統合することにより必ずデメリットがあります。このデメリットをどれだけ多く聞いて対応するかどうかだと思います。また、交野の財政が厳しいなら、何か対策はされていますか？財政が確保できれば先生をへらさなくて四校維持することが出来るのでは？子育て世代に対しての対応が他の市に比べておけている。
※通学路に関して一番遠い所から歩いてみて下さい。

【30】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1 番	記載なし	2 番	記載なし	3 番	記載なし
-----	------	-----	------	-----	------

■ ご意見

そもそも第1回懇談会で「どんな子どもになってほしいか」について意見交換し、第2回でいきなり18の適正配置案を示され、5年後の学校としてどの案がよいかを話し合えとはいささか乱暴ではないか。
懇談会のコンセプトがよくわからない。また、行政の考え方もよくわからない。ここで意見を言い合うだけで、交野の未来の学校につながるだろうか。

10・20年後の望ましい学校適正配置案についての意見まとめ

参加者の皆さまが望ましいと考えられた配置案の番号とご意見を一人ひとりまとめた結果です。
ご意見は匿名での公開としています。

※いただいたご意見は、匿名かつ順不同で掲載しています。そのため、資料3と資料4の「【1】さん」は同じ参加者の方のご意見ではありません。「【2】さん」以下も同様です。

【1】さん

■ 望ましいと考えた配置案（10年後）

1 番	第5案	2 番	第11・12・13案	3 番	
-----	-----	-----	------------	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（20年後）

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

■ ご意見

環境や技術の進歩がめざましいこの時代、10年後20年後の形は想像するにはリアリティを捉えにくいです。なので、必然的に数字で分かる事でしか判断しにくい感想です。15-2案について必ずしも賛成ではありませんが、地域課題の包括的な解決というものには興味があります。学校機能と地域コミュニティの連携ができているのであれば面白い切り口だと思います。

【2】さん

■ 望ましいと考えた配置案（10年後）

1 番	第1案	2 番		3 番	
-----	-----	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（20年後）

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

■ ご意見

星田北地区の開発もあり、今後の子どもの数が減少するとは今の段階では考えられません。現状では、10年で人口流入を見極めて、それから考えてもおそくはないと思います。

【3】さん

■ 望ましいと考えた配置案（10年後）

1 番	第15の2案	2 番	第15案	3 番	第17案
-----	--------	-----	------	-----	------

■ 望ましいと考えた配置案（20年後）

1 番	第15の2案	2 番	第15案	3 番	第17案
-----	--------	-----	------	-----	------

■ ご意見

- ・統合するなら小中統合かつ、3小は切り離さないのが望ましい。
- ・地理的配置は第15案が望ましい。
- ・スペースを少しでも広くする意味で第15の2案が望ましい。

【４】さん

■ 望ましいと考えた配置案（１０年後）

1 番	第 1 案	2 番		3 番	
-----	-------	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（２０年後）

1 番	第 1 5 案	2 番		3 番	
-----	---------	-----	--	-----	--

■ ご意見

記載なし

【５】さん

■ 望ましいと考えた配置案（１０年後）

1 番	第 1 案	2 番		3 番	
-----	-------	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（２０年後）

1 番	第 1 5 の 2 案	2 番		3 番	
-----	-------------	-----	--	-----	--

■ ご意見

１０年～２０年まで現状維持。星田北地区の開発状況、人口動態の見極め、２０年までに道路整備と池のうめ立て整備し、新一体校を完成させる。

【６】さん

■ 望ましいと考えた配置案（１０年後）

1 番	第 1 案	2 番		3 番	
-----	-------	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（２０年後）

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

■ ご意見

子ども達の事を第一に考えて決めていただきたいと思います。２０年後は考えられません。

【７】さん

■ 望ましいと考えた配置案（１０年後）

1 番	第 1 5 案	2 番		3 番	
-----	---------	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（２０年後）

1 番	第 1 5 案	2 番		3 番	
-----	---------	-----	--	-----	--

■ ご意見

記載なし

【8】さん

■ 望ましいと考えた配置案（10年後）

1 番	第 1 案	2 番	第 8 案	3 番	
-----	-------	-----	-------	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（20年後）

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

■ ご意見

社会の変化が大きく、将来の予測が難しい時代ですので、20年後にどの案がいいかの判断は出来かねます。

【9】さん

■ 望ましいと考えた配置案（10年後）

1 番	第 1 案	2 番		3 番	
-----	-------	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（20年後）

1 番	第 1 5 の 2 案	2 番	第 1 5 案	3 番	
-----	-------------	-----	---------	-----	--

■ ご意見

記載なし

【10】さん

■ 望ましいと考えた配置案（10年後）

1 番	第 1 案	2 番		3 番	
-----	-------	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（20年後）

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

■ ご意見

10年後になると、一中校区の様子もわかるので、それまでは、現状のままで。

【11】さん

■ 望ましいと考えた配置案（10年後）

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（20年後）

1 番	第 5 案	2 番		3 番	
-----	-------	-----	--	-----	--

■ ご意見

通学路等についても、資料を添付願います。一中校区PTAの話を聞くという件について回答をいただきたい。

【１２】さん

■ 望ましいと考えた配置案（１０年後）

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（２０年後）

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

■ ご意見

次回は、一中の事例についての説明（メリット、デメリット）をお願いします。

【１３】さん

■ 望ましいと考えた配置案（１０年後）

1 番	第 1 案	2 番		3 番	
-----	-------	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（２０年後）

1 番	第 1 5 の 2 案	2 番	第 5 案	3 番	
-----	-------------	-----	-------	-----	--

■ ご意見

記載なし

【１４】さん

■ 望ましいと考えた配置案（１０年後）

1 番	第 1 5 の 2 案	2 番	第 8 案	3 番	
-----	-------------	-----	-------	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（２０年後）

1 番	第 1 5 の 2 案	2 番	第 8 案	3 番	
-----	-------------	-----	-------	-----	--

■ ご意見

記載なし

【１５】さん

■ 望ましいと考えた配置案（１０年後）

1 番	第 1 案	2 番	第 8 案	3 番	
-----	-------	-----	-------	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（２０年後）

1 番	第 1 5 の 2 案	2 番		3 番	
-----	-------------	-----	--	-----	--

■ ご意見

１０年後 ３小学校とも児童数、学級数に大きな変動はないので第 1 案でよい。但し、星田小学校の老朽化を考慮して、第 8 案も検討してはどうか。

２０年後 理想的な施設一体型小中一貫校を目指すなら、第 1 5 の 2 案が良いのではないですか。プール、体育館も図書室も十分確保できるのではないのでしょうか。

交野市は第二京阪のお陰で発展する地域という人もあり、開発や人口の動きを十分見直すことが必要。施設一体型一貫校を作ったが、入りきらないということのないように。

【１６】さん

■ 望ましいと考えた配置案（１０年後）

1 番	第 1 5 の 2 案	2 番	第 1 5 案	3 番	
-----	-------------	-----	---------	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（２０年後）

1 番	第 1 5 の 2 案	2 番	第 1 5 案	3 番	
-----	-------------	-----	---------	-----	--

■ ご意見

意見は前回と同様です。
地域（地区）と校区は同一であることが望ましい。

【１７】さん

■ 望ましいと考えた配置案（１０年後）

1 番	第 1 案	2 番		3 番	
-----	-------	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（２０年後）

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

■ ご意見

教育にお金をつかっていただきありがとうございます。今後とも様々な話し合いをかさねて、よりよい学校づくりを宜しくおねがいします。

【１８】さん

■ 望ましいと考えた配置案（１０年後）

1 番	第 1 案	2 番		3 番	
-----	-------	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（２０年後）

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

■ ご意見

星田北地区（開発中の地区）がどうなるかわからない状態では何とも言えない。１０年後、２０年後にどれだけ人口がふえたかによって統合すればいいのでは？
それまでは、議論をくりかえし、住民に説明する場をもうけるのがいいと思います。一中校区のようにゴタゴタしないように。

【１９】さん

■ 望ましいと考えた配置案（１０年後）

1 番	第 1 案	2 番	第 4 案	3 番	第 5 案
-----	-------	-----	-------	-----	-------

■ 望ましいと考えた配置案（２０年後）

1 番	第 1 案	2 番	第 4 案	3 番	第 5 案
-----	-------	-----	-------	-----	-------

■ ご意見

基本的には小中一貫には反対ではないが、やり方によると思う。規定を上回る大規模な施設一体型校の建設は、子どもたちのためになるとは思わない。子どもたちのために安全安心な居場所としての学校、そして災害時の避難所としての役割や地域のコミュニティとしての学校の役割をしっかりと考えた上で、リスク管理も視野に入れた学校づくりが大切だと思う。

【20】さん

■ 望ましいと考えた配置案（10年後）

1 番	第15の2案	2 番		3 番	
-----	--------	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（20年後）

1 番	第15の2案	2 番		3 番	
-----	--------	-----	--	-----	--

■ ご意見

記載なし

【21】さん

■ 望ましいと考えた配置案（10年後）

1 番	第1案	2 番	第5案	3 番	
-----	-----	-----	-----	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（20年後）

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

■ ご意見

今は議論のはじまり、20年後のことがわかるわけがない。いろいろな可能性があるし、今後の人口の変化や状況もかわっているかもしれない、必ず当事者や地域住民をまきこんでいけるようにしてほしい。一中校区の検証を必ずしてほしい。第3回の資料もとても膨大な量でまとめるのは大変なんだろうなと思いました。丁寧に対応していただきありがとうございます。

あと、この会をLIVE中継、録画ありで公開してほしいです。（参加者でうつりたくない人もいるかもしれませんが）興味をもってはいるけれども、この会には時間的（平日夕方）に申し込めなかった友達もいます。

【22】さん

■ 望ましいと考えた配置案（10年後）

1 番	第15案	2 番	第16案	3 番	第17案
-----	------	-----	------	-----	------

■ 望ましいと考えた配置案（20年後）

1 番	第15案	2 番	第16案	3 番	第17案
-----	------	-----	------	-----	------

■ ご意見

交野市の高齢者も多くなっているの、高齢者の方達の事も少し考えていただきながら、交通ルールも少し考えていただきたいです。

通学の時も交通ルールをまもらない方が多いので高齢者の方達も住みやすいように考えていただけたら嬉しいです。

【23】さん

■ 望ましいと考えた配置案（10年後）

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（20年後）

1 番		2 番		3 番	
-----	--	-----	--	-----	--

■ ご意見

記載なし

【24】さん

■ 望ましいと考えた配置案（10年後）

1 番	第 1 案	2 番	第 5 案	3 番	
-----	-------	-----	-------	-----	--

■ 望ましいと考えた配置案（20年後）

1 番	第 5 案	2 番	第 1 5 の 2 案	3 番	
-----	-------	-----	-------------	-----	--

■ ご意見

施設一体型は、行政側からの費用、管理の面で都合が良かったために進めようとしているのではない。

中一ギャップをなくすためということが理由として挙げられているが、ギャップは次々に出てくるものでそれを越えていきながら成長するものだと思う。乗り越える手助けはするべきだが、なくしてしまっ解決しようとするのはおかしい。

小中一貫教育については、いいものだと思う。現在も三中校区で進められており、第一回で各校の教頭先生から話を聞くと成果も十分上がっているとのこと。それを施設一体型にする必要があるのか。その話の中でも「中学生への憧れ」という言葉もあり、そういう意識も大切ではないか。

人数が減るから学校を統合しようというのは賛成する。もともと妙見坂小・旭小・藤が尾小も星田小一校の校区であり、人数が増えたために分離していったもので、少なくなれば統合すればよい。

施設を新しく作るときには、次のことを考えてほしい。

- ・建設時だけに金をつぎ込むのではなく、継続的に整備していく費用をとっておいてほしい。

- ・最新式はすぐに最新式ではなくなるので、施設については基本的なつくりをしっかりとおくだけで、「最新のもの」ではなく、「将来の変化に対応できるもの」にしてほしい。

懇談会参加者提案資料

第2回 懇談会において、第3回 懇談会で提案したい資料などがあれば、参加者で資料を作成後事務局にご提出いただくこととしていました。

その結果、3名の方から、以下のとおりご意見・ご提案をいただきました。

なお、ご提出いただいた資料等については、第3回 懇談会にて提出者の方からご説明いただきました。

【ご提出いただいた資料】

「参加者提案資料（1）」「参加者提案資料（2）」「参加者提案資料（3）」のとお

3 中校区学校規模適正化懇談会

小中一貫教育の客観的データが知りたい

小中一貫教育の実証的検証

心理学による子ども意識調査と
教育学による一貫校分析



小中一貫教育は、子どもたちに どんな影響をおよぼしたのか？

新自由主義的教育政策の強要政策として導入され、
全国に広がった小中一貫校教育。
一貫校と非一貫校の調査研究結果の比較。
心理学と教育学の科学的観点から読み出された。
学校組織と子どもたちの発達の関係とは――

小中一貫教育20年の
「成果」を検証した
画期的研究、その集大成
佐藤 信

小中一貫教育の教育的効果とデメリットについて、心理学と教育学の側面から、教師による評価ではなく子どもの視点に重点を置いた研究の成果

2021.3 初版

（第1期～3期として2013～2019年までの調査研究）

★施設一体型、分離型、非一貫校 による比較

★施設一体型の小規模（児童生徒 200 人未満）

中規模（児童生徒 300～400 人）

大規模（児童生徒 1000 人以上）の比較

☆施設一体型小中一貫校に通っている小学校段階の児童は、非一貫校の児童と比較して、学校適応感が低い傾向にあり、疲労感が強く、自信や目標に挑戦するという姿勢が弱い。学業や対人関係、運動や自己の価値などで自分の有能さを感じにくく、自分のやりたいことや意見を明確に示すことが少ない

☆学校適応感は学校規模が拡大するとともに低下。学校が楽しい、学校へ行きたいという気持ちの強さは、児童生徒が通っているそれぞれの学校規模に依存するところがある

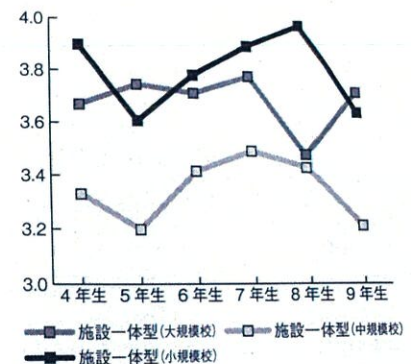


図2-16 学校適応感

↑ 中規模と大規模のグラフが色違い
と出版社確認済み… p 27

学校適応感（楽しい、行きたいの気持ち）

非一貫校 > 施設一体型

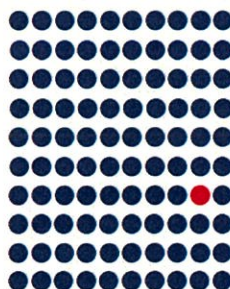
小規模校 > 大規模校



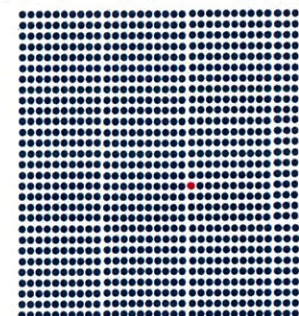
学校規模は 児童生徒の自己意識や他者意識の形成に影響する→慎重に考えたい



10 人の中の私



100 人の中の私



1000 人の中の私

WHO の学校規模についての見解

大規模な機関においては回避することができない規則および規制を回避するためには、**教育機関は小さくなくてはならない**—カーティス報告が提案した**生徒 100 人を上回らない規模**—という点で意見が一致している。

非人格的な規則ではなく、人間的な関係に基づいたインフォーマルで個性的な教育は、こうした条件のもとで初めて可能になる。

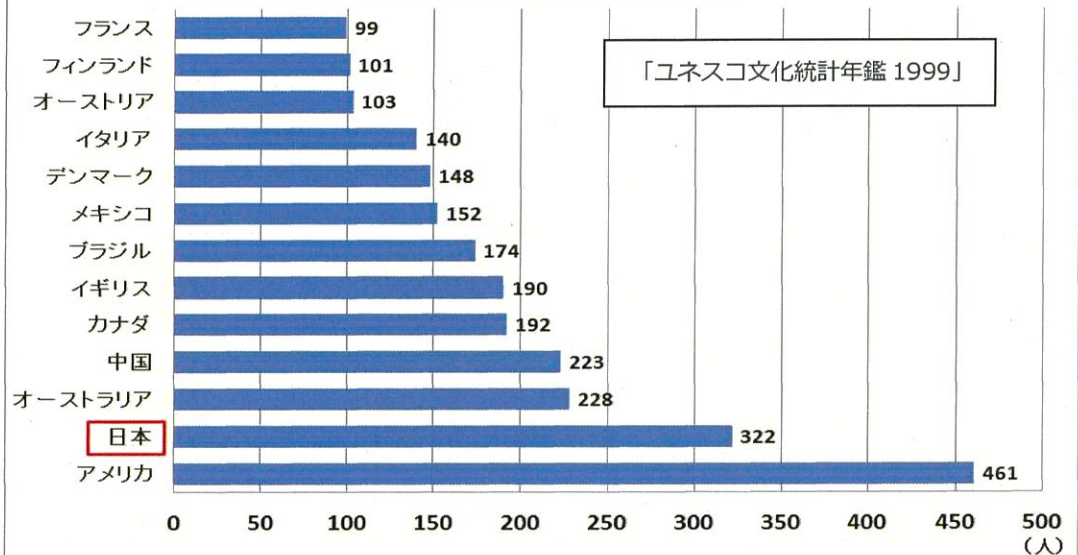
（教育機関の内部の）集団の規模に関しても意見の相違はまったくなく、小さな規模を保たなければならないという考え方で完全に一致している。

（カークパトリック・セール 『ヒューマンスケール』 教育不在の「教育」機関より）

友達 100 人
できるかな〜♪



初等教育の学校規模の国際比較

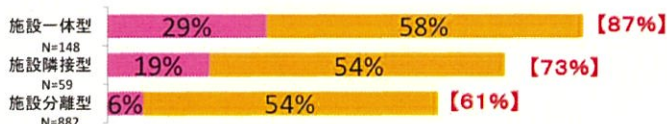


「小さな学校」「小さなクラス」ほど、学習意欲や態度が積極的になり、子どもたちの人格形成・人間的成長にとっても効果的であるという研究も

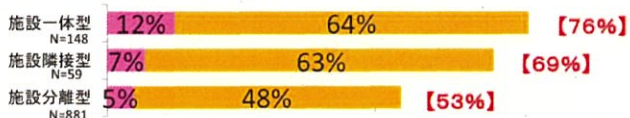
★学校の規模が小さいほど教育効果が高まる「コールマン報告」（1966 年）

★学級の規模が小さいほど教育効果が高まる「グラス・スミス曲線」（1982 年）

⑪児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた



⑫児童生徒の自己肯定感が高まった

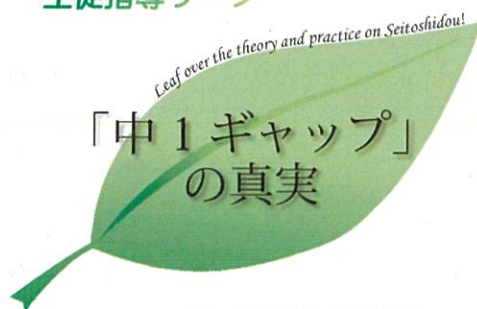


小中一貫教育等についての実態調査

（文部科学省 2014 年）

では、すべての項目において成果があるように見えるのですが、他との結果の違いが気になりそれぞれの質問において共通の基準があるのか？誰がどのように判断して出したものなのか？文科省に問い合わせ中です ^ ^

生徒指導リーフ



Leaf.15

生徒指導・進路指導研究センター



中1ギャップ?

- ◆「中1ギャップ」という語に明確な定義はなく、その前提となっている事実認識（いじめ・不登校の急増）も客観的事実とは言い切れない。
- ◆「中1ギャップ」に限らず、便利な用語を安易に用いることで思考を停止し、根拠を確認しないままの議論を進めたり広めたりしてはならない。

学校制度の違いという外的要因が種々の問題の主原因であるかのようなイメージを抱くと、問題の本質や所在を見誤り、間違った対応をしかねない

人数が減るから統廃合 と決めつける前に、

こどもたちにとって本当に最適な学校規模について

交野の学びのあり方、ビジョンを考えることから始めたい

当事者が不在 → 当事者を巻き込む体制づくり

新しくつくる学校に通う、子どもたちはまだ生まれていない。

この先通うかもしれない乳幼児の親は、日々の生活に忙しく将来の学校まで考えられないのが現状。

今、20年後を見据えて考えを深めていくことは大切だが、当事者不在で決めてしまってもよいのかな？

現状の学校の中の施設者朽化など困り事は将来に先送りせず、今の子どもたちのために解決して欲しいし将来の統廃合についてはまだ時間があるので、ここからみんなで考える長期的な展望を持って

住民に自分事として考えられるよう呼びかけをはじめていき、実際に統廃合を具体的に決定するときには当事者となる子どもや保護者の意見が反映されるように働きかけてはどうか。懇談会の様子やこれからの地域への説明会などもLIVE中継の他、アーカイブでいつでも見れるようにするか、わかりやすい資料などで周知してはどうか。この件について興味を持っているものの、意見を言えずにいる人がいると思います。

他にも例えば年に一度、こどもの教室でどんな学校だったら楽しいかな？どんなことがしたい？何に困ってる？を制約せず語り合い、ヒントをもらうような場をつくるとか。一中校区の学校で実際運用したうえでの良かった点、問題点を行政と地域住民、保護者、教員、児童心理の専門家等のチームで検証するとか。

10年後、20年後の環境や価値観が変容していてもそれに対応できるように計画を進めてほしい。

大人にとって都合のよい学校環境ではなく
こどもたちにとってよりよい学校環境をつくりたいです

第三中学校区における市立小中学校の学校適正配置等に関する懇談会

2021 年 10 月 15 日

これまで２回の懇談会に参加して、「学校適正配置の方向性」について懇談会だけで議論するのは非常に不十分であると思いました。教育委員会も「将来にわたって、子どもたちに良好な教育環境を確保していくためには、どのような学校配置・学校の在り方が望ましいと考えられるのか、是非とも多くのご意見をお聞かせいただきたい」と言われていることを考えると、この懇談会参加者 36 名の意見だけではなく、是非とも 3 つの小学校ごとに校区説明会を開催し、保護者・住民から広く意見聴取されることが必要だと考えます。

というのも、やはり一番気になるのは、「一中校区小中一貫校問題」において、住民投票が求められる事態にまでなったことです。三中校区で同じ轍を踏むことは、何より交野の子どもたちの未来にとって避けたいと考えます。そこで、次回には、次の資料を是非ともご準備願います。一中校区で住民説明会を開かれた形態（例えば小学校校区ごと等）、回数と日時、また記録があれば、それも含めてご準備くださるようお願いいたします。そして、それらの資料を通して、三中校区において、どのような形態、日程、回数、内容で開催すれば、地域と学校が有機的に結びつき、「学校適正配置の方向性」の議論を有効かつ有益なものにできるのか、見えてくるように存じます。

また、懇談会において今後意見交換をするにあたっては、次のような疑問を抱いています。学校教育法施行規則の第 79 条の 3（2016 年改訂部分）には、「義務教育学校の学級数は、18 学級以上 27 学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りではない。」と記載されています。それに即して試算すると 1 クラス 35 名で、630 名～945 名となります。1 クラス 30 名なら、540 名～810 名となります。

配置案 15、16、17、18 案（3 つの小学校と第 3 中学校統合案）では、10 年後予測で 36 学級・1149 名、20 年後予測で 27 学級・926 名になります。この人数を学校規模として適正と考えることには、大いに疑問があります。

次に、交野市教育委員会が算出した小学生数予測は、6 年後までは実数に基づくと言えますが、7 年後以降は、国立社会保障・人口問題研究所推計値を元にした児童生徒将来推計によるものです。また、文科省による学級数による学校規模の分類では、小学校では「過小規模校：1～5、小規模校：6～11 学級、適正規模校：12～18、大規模校：19～30、過大規模校：31 以上」としています。過少規模校と小規模校は同一に扱えないと考えます。

さらに、通学距離の問題について、教育委員会は通学距離 3 キロ以内を許容範囲としていますが、この件に関してはいっそう 3 小学校区並びに三中校区の保護者等に意見を聞く必要があると考えます。多様な子どもの事情を背景として、最も敏感に、そして真摯に考えられることと思われま

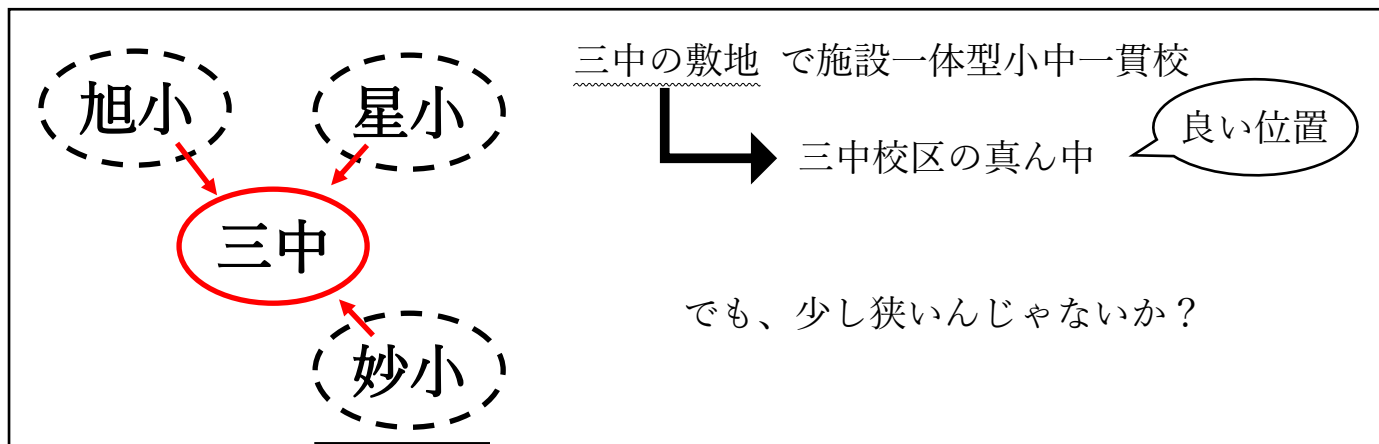
以上

第３回 第三中学校区地域懇談会資料

（１０年から１５年後のあるべき姿）

適正配置案の追加として、「小中学校統合配置案（１５の２）」を提案

今の 小中学校統合案（１５の２）



今回提案する 小中学校統合案（１５の２）



【 提案理由 】

- ① 第三中学校区の子どもたちに最高の教育環境を
- ② 地元の活力を取り戻し、地域の絆を深める
- ③ 大切な溜池を地域の宝である子どもたちの教育の場として有効活用

① 第三中学校区の子どもたちに最高の教育環境を

- 少子高齢化が進み、各小学校が6学級になるほど、児童生徒数が大幅に減少
- 3小の統合により長期的に、適正な学校規模が確保できる
- 小中一貫教育の推進は国の動向であり、近隣他市でも施設一体型小中一貫校が建設されている
- 施設一体型小中一貫校の素晴らしさは、国の調査結果等でも表れている。また、この懇談会で視察に行かせてもらった、京都市の施設一体型小中一貫校での説明や質疑応答においても、素晴らしいものだと感じた。
 - ◆凌風小中学校 見学報告書 5 ページ 「Q1.」
 - ◆向島秀蓮小中学校 見学報告書 5, 6 ページ 「Q5.」 など
- 視察では、教育環境は素晴らしいが、敷地の狭さに課題があるということだったが、今回提案する配置案（15の2）では、敷地も広々としたものになる。
- 小中一貫校が地域のコミュニティスクールとなり特色ある学校づくりを進めていくことができる。
- 施設一体型小中一貫校の新設まで小規模の改修で対応でき、維持管理費が減額できる。
- 一中校区の事例の良いところは継承し、一中校区をモデルケースとして検証しつつ、三中校区の具体的な課題の解決策を検討する時間は十分にある。

② 地域の活力を取り戻し、地域の絆を深める

- 地域の子どもは地域が連携し、地域が一体となって見守り育てる。
- 3小1中が統合し、施設一体型小中一貫校が新設されることで、地域コミュニティ、福祉、教育、まちづくりなど、あらゆる分野で3中校区全体が連携し、地域の支え合い・助け合いによる地域福祉の推進や、国の動きである「我が事・丸ごと」地域共生社会の実践を目指すことができる。
- 地域が一体となり、地域の課題や高齢者社会の問題などを包括的に支援できる。

③ 大切な溜池を地域の宝である子どもたちの教育の場として有効活用

星田駅北の大規模な土地区画整理事業により星田大池の利水地権者が少なくなり、先人が大切に守ってきた、ため池の役割（農業用水など）が失われてきている。星田大池は、大字星田財産区の所有となっており、未来の学校用地としてということであれば、地域の理解も得やすいと思われる。

また、星田大池の麓には住宅が密集していることから、自然災害に対処できる安全対策が必要である。学校用地として活用するために、大池を埋め立てれば、大池の麓地域の安全対策にもつながる。

●溜池を子どもたちの教育の場として利用することは地域財産の最善の有効活用



最後に

今回提案する配置案（15の2）では、星田大池の管理団体である所有者の大字星田財産区、水利組合の星田用水組合との協議が必須ではありますが、これからの子どもたちに最高の教育環境を整備するため、そして地域の活力を取り戻し、絆を深めるため、この配置案を提案します。

懇談会の感想や学校適正配置に関するご意見等

第4回懇談会后、全4回の懇談会を終えて、懇談会にご参加いただいたの感想や学校適正配置についてのご意見などがあれば、用紙に記入後、ご提出いただきました。(記入は任意)

いただいたご感想・ご意見は以下のとおりです。

-
- ・まず、一貫校を確立(15-2大池埋立をすべき)⇒旧小学校の運用も考える。
 - ・そこへの通学路を確立すべき(安全対策)⇒一般道も改善すべき。
 - ・部活について、地域ボランティアを活用して、活力を生み出すように取り組めたら良い。
 - ・地域の住民も応援したく思っているので、子供会(PTA役員)との交流を増やして下さい。(現在は入りにくくなっている)
 - ・学童見守り隊を現在進行中であるが、高齢化も進んでいるので、今後有償ボランティアに移行すべきである。

 - 4回とも参加させていただきました。正直なところ、はじめは大丈夫かなと思うところもありましたが、意見に対して会の内容を柔軟にかえていただいたのはとてもうれしく感じました。まだまだ思うところはありますが、今後とも子どもたちのために、学校、地域、保護者、行政が協力し、前を向いていければと思います。ありがとうございました。色々勉強になりました。

 - 第一回目の時に、「どんな子どもに育ってほしいか？」の話し合いがあったと思いますが、小中一貫教育について、教育内容についてより箱物や通学路といった物理的な話しかなかったように思います。

H29の「小中一貫教育指針」に交野市としての独自の教科?「新たな科」を創設するとありますが、どのようなテキストを作製し、どのような期待を子どもたちにするのか、市内共通のテキストを作るかどうか、例えば、東大阪市は、未来市民教育「夢TRY科」(ゆめトライか)で、身近な生活の中で起こることを題材にして、世の中のできごとを自分にも関わりのあることとして学ばせ、命を大切にし、郷土を愛し、世界の一員へとはばたいてほしいという願いで行われています。

中学校区別々の教育の目的で打つのではなく、交野市共通の目的としてみんなで交野市をこういうまちにしようという教育内容を作ってほしいと思います。

- 子ども達、地域の方々が、安全に避難が出来る建物が必要だと思いますので、今回で小中一貫校に納得いたしました。

ただ、通学路に関して PTA（や学校）に全てを頼るのではなく、行政も参加して、子どもの安全を考えて欲しいと思いました。PTA 役員をして、初めて地域の方、学校、PTA が子ども達を守っているのだと知りましたが、行政の対応が遅かったりと改善していただきたいと思います。宜しくお願い致します。

- 4 回の懇談を通して熱心に「あしたのがっこう こどもたちにすばらしい環境を与えるか」自分の考えている意見が発表出来て良かった。理想を現実にする。

- 三中校区の懇談会により、地域の方々の色々な意見・考えがある事がよくわかりました。

今回も一中校区の方の話も聞くことが出来、参考になりました。

10 年後、20 年後はどのようなになっているかわかりかねますが、行政・学校・地域が協力し、子ども達が一番良い環境で教育を受けられるようにと思います。

今回のような懇談会が社会の状況も変わっていくと思うので、2 年後、3 年後などこれで終わらずに開催される事を望みます。ありがとうございました。

- 今日は、生の声を聞く事が出来て大変良かった。ただ、一番考えないといけないのは子ども達のことです。一中校区の PTA、また、守口のさつき学園の元校長の大野先生のお話は現実的で良かった。出来れば、幼稚園児の親とか、地域のもっとたくさんの人達が集まれる機会を作るべきだと思います。

一番大事な点は、登下校時における事故が子ども達にとって危ないので、早め早めの対策を取らないといけない。そして、見守りに関してもボランティアばかりに頼るのではなく、有償の交通専従員さんを以前のように配置するべきだと思います。

- 小中一貫は基本反対です。小学校だけならいいと思いますが、中学生と一緒にだと親として少し心配です。今と昔ではすごく違うところも多いと思います。小学生が中学生についていけるとは思いません。年上の方達との接し方もわからない状態だとしんどいと思います。

- ・色々な人の意見を聞いて勉強になりました。
- ・通学の事は本当に考えていただきたいです。

- 一中の話はきけてよかったです。でも、いろいろ反対の声の批判は少し悲しかったです。それだけみな思いがあったのだろうし、もっと早くから、市民や保護者もまき

こんだ話す場があったら、よかったのになと思います。

あと合理性はもちろん大切ですが、子どもや保護者の気持ちの部分も大切にしてほしいです。そこが納得できていないから、不消化なのだと思います。

今は三中校区においては、一貫校ありきでなく、いろいろ検討する段階だと思います。今のうちから地域をまきこんでほしいです。あと、20年後では、まだ生まれていない子たちが通います。今から生まれる子どもたち、例えば1才半健診で三中校区の人に「今このような話題があって、とりくんでいる。ここを見ると話しあいの経過がわかります。ぜひ子どもたちの学校を一緒に考えていきましょう」というおたよりをするなどして種まきをしていってほしいです。

- 各小学校、中学校の子ども、保護者に向けての説明会も望みます。説明会がある事さえ知らない人が多いと思われる。

- 竹内先生はじめ、多くのコメントをのべてくださるゲストのお力をかり、たくさんの意見や問題点をお聞きする機会をいただけたことをありがたく思います。

一部の参加者の方は、当初、かなり「反対するぞー」と意気込んで来られたが、地域の方と話をする中で、知らないことでたくさん学校や地域ですばらしい活動、取り組みをしているのだと知ったとびっくりされていました。やはり、立場のちがう者同志で議論するのは大切な事だと実感しました。

今回は、4回の会でしたが、多くの住民の方に我が事として考えていただき、今とこれからの問題（教育の）について深く知っていただきかわっていただきたいと思っています。

新しい15－2という案も出て来たことも良い成果。

これにおわらず、話し合いの機会をもうけていただきたいです。

- 各々ご意見が異なり、自分の持っていない視点をお聞きすることができて興味深かったです。

20年後は直接教育現場に携わる機会は少ないと思いますが、地域に生きる者として子ども達の良き環境作りの力になりたいです。

- 施設一体化一貫校を行うメリット＝予算面でのメリットのみ（但し15－2は判断できない）と判断しました。しかし、それは市の財政の中で、より安全な環境を子どもに提供するためと捉え、市がこの国の流れに乗るのであれば、もっと前面に堂々と押し出すべきです。

Society5.0＝超スマート社会が目の前に迫っている中、分散と一体化、一クラスの人数、教員の数などは些細な問題であり、どう知恵を絞り、その時代に合った教育を

行うかは、プロである教師がプロとして考えることです。

地域の実情に合った形を地域で考えることは必要とは思いますが、そもそも、市として地域の子どもにどうなって欲しいかというビジョンがなければ、地域はバラバラな意見が、てんでバラバラな方向に向かって支配されることになります。

コミュニティスクール、地域の様々な団体との関わりとありますが、防犯の為に通学路案さえ示せないのに、学校に色々な団体と関わらせることが果たしてできるのでしょうか。

地域コミュニティの再生は、喫緊の課題です。その中心を学校とすることも、どちらかと言えば賛成です。であれば、交野のビジョンとして、教育現場のみでなく、市全体の施策として進めて欲しいです。

変えるのは、学校でもなく子どもでもなく、地域であり大人だと思います。学校単体でなく、「これからの交野市」という大きな文脈の中で検討していただきたいです。

- ありがとうございます。早々、小中一貫の統合をお願い致します。

今から通学路の問題に関しては、十分な検討をお願いします。

現在の通学路の安全対策も合わせて検討下さい。

20年後と言わず、統合は早くするべきと思います。

行政と地域とが、一生懸命に協力して頑張りましょう。

他市からも、交野市（三中校区）の一貫校に通学したいのと思ってもらい、転居して来てくれるぐらいの素晴らしい学校にして下さい。

- 第2京阪道路の交通網も定着し、星田北地区の開発も順調である。3中校区の住宅開発も目覚ましく、若い人達の地区内流入は増加に向かうことが実感としてある。

10年先、20年先の教育環境の整備は、今から取り組んでおかなければならない重要な課題である。

その課題の行末を考える今回の地域懇談会に出席して感じたことは、第1回はとにかく、2回、3回と重ねる度にいかに子ども達の将来の教育環境を良いものにしなければならないとの強い思いを持った方々の意見が増していき、結果的に良い懇談会であったと感じられた。

これら貴重な多くの意見を更に昇華させ10年後には3中校区の中心地に災害に強く広々とした建物をつくり、旧星田大字地域コミュニティの拠点となる、小中一貫校「ほしの町学園」を完成させて戴きたい。

- ・小中一貫校に関しては基本的に賛成です。（15－2案）

・子ども達の将来の事を考えて、PTA、地域、先生方と一緒に進める必要がある。

- ・一番の課題は、通学路の問題。特に交通に関する安全面の確保。また、不審者に対する対策。これらは、地域と一体になって進める。

■＜一中校区の先例から学ぶこと＞

- ①通学路に関する情報共有化に時がかかりすぎ。
- ②子ども中心の学校行政を最優先に、保護者がメインとなり、行政に要望を整理して伝える事が大事。
- ③児童数の減少、建屋の老朽化に伴う、災害への耐力低下への対応等、学校が抱える問題解決策を“議論の為の議論”に終始せず、早く合意形成を図り、学校の課題解決を図ることが大切。
- ④小中一貫校への移行に伴い、子ども達の中から良い効果も産まれている。前向きでよい事例も沢山ある。心配・取越苦労ばかりではない

＜小中一貫校化に向け（学校の整理・統合、建屋の新築・更新も含む）＞

- ①技術革新に伴う、学校内外の教育環境の急速な変化
- ②校舎の老朽化と災害耐力の低下
- ③少子化・児童数の減少に伴う学級規模の見直しの必要性
- ④少子高齢化、核家族化等に伴う家庭内の親子の絆への影響等、子ども達を取巻く環境の急速・大幅な変化に対し、早急で適切な対応が急務になってきている。この状況を学校関係者・保護者・行政・地域住民の皆が、情報共有を図りつつ、子ども達の5年・10年先の将来に向け、積極的で前向きな対応策を講じていく事が大切だと思います。

■ 第4回懇談会は、大変有意義なお話が聞けました。

PTA 会長3名の方がお話しされた課題を第三中校区では十分考慮して取り組んでいただきたい。

・通学路の精査 ・学童見守り体制 ・親への説明 ・子どもへの説明

・老朽化への対応 ・運動場、プール、図書室などの十分な確保

などについて取り組みをよろしくお願いします。

保護者や子どもが夢と希望に胸がふくらむような取り組みをお願いします。

20年先をみすえて構想を決めて、手遅れにならないように取り組んでいただきたい。

■ 小中一貫教育については反対ではないですが、施設一体型については、十分な検討が必要だと思います。

子どもたちにとってどんな環境が適切なのか、行政だけではなく、地域、保護者、そしてできればこの懇談会の参加者も含めて協働で考えていくことができればと考

えます。

そのためにも、継続した話し合いの場を提供してほしいです。

①一中校区のときのように、基本計画が決定してからの説明会ではなく、検討段階からの説明・意見交換会を開催してほしいです。また、開催する際には、できるだけ多くの方が参加できるよう、周知方法、日程、時間帯などの検討をお願いしたいです。

- ・学校の規模は、国の基準で考えてほしいです。（施設一体型が二校になってもよいと思います）

- ・通学路の距離、安全性などは早い段階で検討してほしいです。

②こどもたちにも十分な説明と不安に対するケアをお願いしたいです。子どもの声をぜひ聴いてください。

4つの学校が一つになることで、大きな災害時の避難場所が少なくなり、たくさんの市民が行き場をなくすのではないかと懸念しています。この問題は、教育委員会だけで抱える問題ではないと思います。まちづくりとして防災も含めた計画案が、交野市として考える必要があるのではないかと思います。

同様に、小中統合後の施設の利用（跡地利用）についても、交野の財産である自然の保全に配慮し、公益的な目的で利用されるよう、これもまちづくりとしての計画案が必要だと思います。

15—2の大池埋め立て案についてですが、他の案は予算面や工期その他を含めて検討されて出てきている案だと思ったので、一個人案としていきなり出てきたものが採択されたことに対して違和感を持ちました。

考えを出すだけで採択されるのであれば、施設一体型を2校という案もいいのかないと思いました。

いずれにせよ、大池を埋め立てるのであれば、予算、工期、生態系への影響、メリット、デメリット含め、十分な検討とそれを市民にちゃんと提示した上で実施してほしいと思います。

■＜今後について＞

地域の意見を聞く場がこれでおしまいということにはしてもらいたくない。

司会者は「20年後に話してください」と言っていましたが、20年後に実現するためにはその何年もまえから話し合い、準備をしていかなければならないと思います。

また、地域の学校を考えることは統廃合の問題だけでなく、学校・地域にかかわる問題はたくさんあり、学校・地域で一緒に話をする場が常時開かれているべきだと思います。

＜施設について＞

向島秀蓮小中学校の見学に行きました。建物は工夫され最新のものであったと思い

ます。しかし、もうすでに活用されていなさそうな物・場所もあり、また敷地を目いっぱい使うために無理やり詰め込んだものだと思います。

敷地に全く遊びがない。遊びの空間があることで、ゆったり落ち着くことができ、またその空間を新しく何かに活用しようという考えも出てくると思います。運動場も狭く、統合前の学校の運動場も使っていると聞きました。

建物についても敷地不足から中廊下になっていることで陽のあたらない教室がたくさんできてくる。照明で明るさは確保できるかもしれないが、子どもたちには太陽の光をたくさん浴びて生活してもらいたい。

施設については小規模になったために統合し元の規模くらいにすることは問題ではないと思うが、小学校・中学校という二つの学校をもともと一つの施設でしかなかったところに詰め込むのは無茶だと思います。

<跡地について>

統合するとなると、跡地をどうするかも一緒に考えるべきだと思います。

売却ではなく、公共の施設として活用してほしい。地域コミュニティ・スポーツなどいろいろな活用が考えられると思います。また、将来学校の分離ということもあるかもわからず、その時はまた学校として利用できる。公共のものとして残しておけば、災害時の施設としての役割も果たすことができる。

<一貫教育について>

一貫教育については賛成する。しかし、一貫校にする必要はなく、また施設一体については全く賛成できません。理想は施設分離・隣接だと思いますが現状はそのような恵まれた立地はどこの地域にもほぼないと思います。今ある学校の敷地で施設分離型で一貫教育を進めていくことに大きな問題はないと思います。星田では大池を利用することは賛成します。

9年の義務教育校、6・3制ではない区切りの話もありましたが、その場合でも施設は別にすることは可能だと思いますしある程度の区切り、ギャップは必要だと思います。